

No. 43 2026年 9 月 20 日		本 日 の 集 会		◇今週の説教要旨（三位一体後第十六主日礼拝）	
三位一体後 第十六主日礼拝 説教『キリストにある永遠の命に招かれ』		★教会学校 午前9時45分 ★コーヒータム 礼拝後～ それぞれの思いを語り合しましょう。		『キリストにある永遠の命に招かれ』Ⅱテモテの手紙1:3～10	
司会 山根 眞三 師 安部 愛 さん				孝行さんに先生は由美子先生のことばかり思っ	
奏 楽 自動演奏機				て泣いてばかりいるから、その歩みで大切なもの	
招 詞 ヨハネ福音書 11章25, 26節				を失っていると叱られました。本来なら私が聖書	
主 の 祈 (5 6 4)				を示して励まし、祈らなければならないのに駄目	
讃 詠 5 4 6				なことだ。使徒パウロはローマにイエスの福音を	
交 読 詩 編 6 8 篇				語ったことによってローマ帝国の囚われの身とな	
祈 禱				っていた状況が今日示された聖書だ。パウロはそ	
讃 美 歌 2 1 - 4 5 0				のような状況にも拘わらず、彼に従った若いテモ	
使 徒 信 条 (5 6 6)				テを慮った。自分の困難な状況よりもテモテの信	
聖 書 テモテの第二の手紙 1章3～10節				仰がどうなのかを。パウロと別れなければならない	
説 教 (口語訳333頁、新共同訳391頁)				い時のテモテの涙を忘れることが出来ないほどに	
『キリストにある永遠の命に招かれて』				彼を愛した。このテモテが自分の状況を難しく思	
祈 禱				って戸惑っていることへの思いなのだろうか。あ	
讃 美 歌 2 1 - 5 2 9				なたの信仰それは祖母、母からのものなのだと。	
献 金				パウロはこれらの信仰の継承をととても大切に思っ	
感 謝				たのだろう。現代社会では、旧統一教会の問題が	
報 告				示すのは、宗教二世とは親の信仰によって根底的	
頌 栄 5 4 1				に不利益を被った子どものことを表すようだ。親	
祝 禱				の一方的な信仰が子どもに財産的負債をもたらし	
後 奏				大変不幸な状況を及ぼす。とても不幸なことだ。	
次週の礼拝(三位一体後第十七主日礼拝)				親の信仰は子どもを豊かな人生へと導くものだと	
説教：『生かす水』				普通は考えるのだが。残念なことだ。しかしここ	
ヨハネ福音書 4章7節～15節				では、そのような宗教二世とは違って、私たちが	
招 詞：Ⅱテモテへの手紙 1章7～10節				とても大切なこととして、受け継いだ信仰の継承	
交読詩編 詩篇 68編25～36				が表現されているのだ。即ち、祖母・母の信仰が	
讃美歌 546、21-451、21-458、543				彼に伝承され、彼の存在をととても豊かなものとし	
礼 拝 当 番				た。パウロはこのような信仰継承をこそ大切にし	
今週 20 日 司会 安部 愛 さん				た。このように生きたテモテにパウロはご自身の	
次週 27 日 司会 吉丸 初美 さん				苦しみ、悩みを共有することを求めた。テモテを	
会堂清掃奉仕				愛していたから。テモテの信仰はパウロが受けた	
				救い主キリスト・イエスの十字架の死と復活の信	
				仰だ。そこでは不滅の命があらわされていた。	
				私たちも継承している信仰がここにあるのだ。	